9 2015 September

園だより

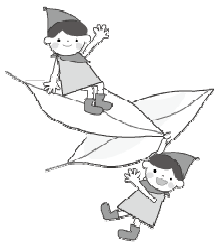
社会福祉法人　双葉福祉会
つつじが丘ふたばランド保育園
牛久市田宮町 199-1
〒300-1236　TEL029-871-6928

秋来ぬと
目にはさやかに見えねども
風の音にぞおどろかれぬる

七月十日頃に、寒いですね」と、挨拶して違和感を持ったが、夏休みに入った途端、猛烈な暑さになり、突然の集中豪雨もあった。自然破壊により、天も怒り狂ったのかと思った。

そんな中でも保育園の子ども達は暑さをものともせず炎天下で真っ黒になって遊んでいた。

八月も末になり
九月の声を聞くころには
さすがに朝夕は涼しい風が吹いてきた。
爽やかな季節、自然の中で
いっぱい遊ぼう！



行事予定表		
1	水	防災の日
3	木	子育てサロン
4	金	ピヨピヨひろば
9	水	公開保育（4，5歳児）
10	木	カレーの日／敬老の日交流
15	火	交通安全教室（2歳児以上）
16	水	お弁当デー
17	木	子育てサロン
18	金	通報訓練（消防署立ち合い）
24	木	誕生会
30	火	ピヨピヨひろば

＊今月も気温の高い日は、水遊び等を行いますので、水着等のご用意をお願い致します。また、涼しい日には、秋の自然に触れながら園外保育を計画していきます。

★夏祭りへのご協力ありがとうございました。★

保護者会役員の方々や有志の皆さんのお蔭で、子ども達にとっても楽しいひとときとなりました事を感謝致します。また、猛暑の中、保護者の皆様にも、盆踊りに参加をして頂いたり、駐車場についてもご協力頂き、本当に有り難うございました。

今週も、園内あちらこちらで夏祭りごっこや盆踊りを楽しむ姿が見られます。そしてきりんグループは、憧れの太鼓に触れ、来年への期待に胸膨らませています。

今月の予定の中から・・・

●防災の日（1日）

・防災週間ですね！災害に備え、アルファー米（保存食用）のおにぎりとけんちん汁を食べます。おやつも、この日は乾パンとリッツです。ご家庭でも防災について考えるきっかけとして頂けたら幸いです。

●公開保育（4・5歳児）

・牛久市内の保育士の勉強会です。他園の先生方に保育活動の様子を見て頂き、感想や助言等を頂きます。今後の保育に活かせるように出来ればと思います。

●敬老の日にちなみカレー昼食会を予定しています。（10日）

・たいようぐみ・そらぐみの子ども達は、エプロン・三角巾の用意を子ども達自身が出来るように、お家の方に見守って頂けたらと思います。

＊今回は、たいようぐみ・そらぐみの祖父母の方々と一緒にカレー昼食会を計画しています。たいようぐみ・そらぐみの祖父母の方で（一家庭一人）ご参加頂ける方は9/7（月）までに担任にお知らせ下さい。

●お弁当デー（16日）

・まだまだ暑い日が続くと思われますので、お弁当の中味は冷めてから蓋をして下さい。引き続きお弁当の中には乳製品・プリン等要冷蔵のものや、腐り易い物は避けて下さい。

●通報訓練（18日）

・今月は、消防署の方々に、園の避難訓練の様子を見て頂き、ご指導を受けます。実践し、その反省を今後に活かします。

お知らせ・お願い

☆おじいちゃん、おばあちゃんに手紙を出します。

・詳細は、後日お知らせを配布します。

☆看護師の荘司晴奈先生が産休に入ります。4月には復帰予定です。また、9月から看護師として酒井直子さんが勤務します。

☆ぞうグループの保護者の方へ

①今年度の筑波登山は10月1日です。

・詳細は、後日お知らせを配布致します。小学校の就学児検診と重なる学校もあるようですが、バス予約の都合もあり、予定通りの実施とさせて頂きます。

②就学に向けて

・今後、更に子ども達の自立を促していきます。その為に、園とご家庭との協力は欠かせません。お手紙等でお知らせしますので、宜しくお願い致します。

もうすぐ十五夜！（27日）

・日暮れが少しずつ早くなり、お月さまも早い時間から顔を出してくれます。お月さまが太ったり、やせたりする様子をお子さんと眺めてみては如何ですか！秋の夜長を楽しみましょう！25日(金)に、4，5歳児がお団子作りをする予定です。

自制心を育てる

子どもが泣き叫び、ぐずられると、根負けしてすぐにお菓子を与えたり、玩具を買い与えていると、子どもは泣きわめけば欲求は通ると学習し、我慢することができなくなってしまいます。▼順番を守る、少し待つ、我慢をする、ルールを守ることがスムーズに心地よく生活するために大切であることを学ばせることが大切です。▼しかし、我慢ばかりではダメです。我慢した時は、大いに褒めたり、欲求を満足させてあげることも大切です。欲求を過度に刺激することも慎むべきです。すぐに買い与えてばかりいるより、待って、我慢してから、欲求を満たされた時の方が、喜びは大きくなります。▼A君は兄弟が5人もいて、一番下のバッチで、いつもお下がりばかりでした。ある日、初めてピカピカの新しい靴を買ってもらいました。登園したA君は、私に、「ほら見て」と足を出して見せました。まるで、足が浮いているようにニコニコと輝いていました。翌日は、前日に降った雨で、園庭が少しドロンコになっていました。A君は、少し遊ぶと、直ぐに足洗い場の水道のところに戻ってきて、靴を脱ぎ靴底まで丁寧に洗って、また、外で遊んでいましたが、しばらくすると、洗った靴をテラスに置いて、なんと、今度は裸足で園庭に飛び出していきました。ピカピカの靴は、日の光を浴びて、前よりもピカピカと輝いていました。A君の喜びが、私の胸に伝わってきました。

理事長　浅田　精利